

烏帽子岳登山

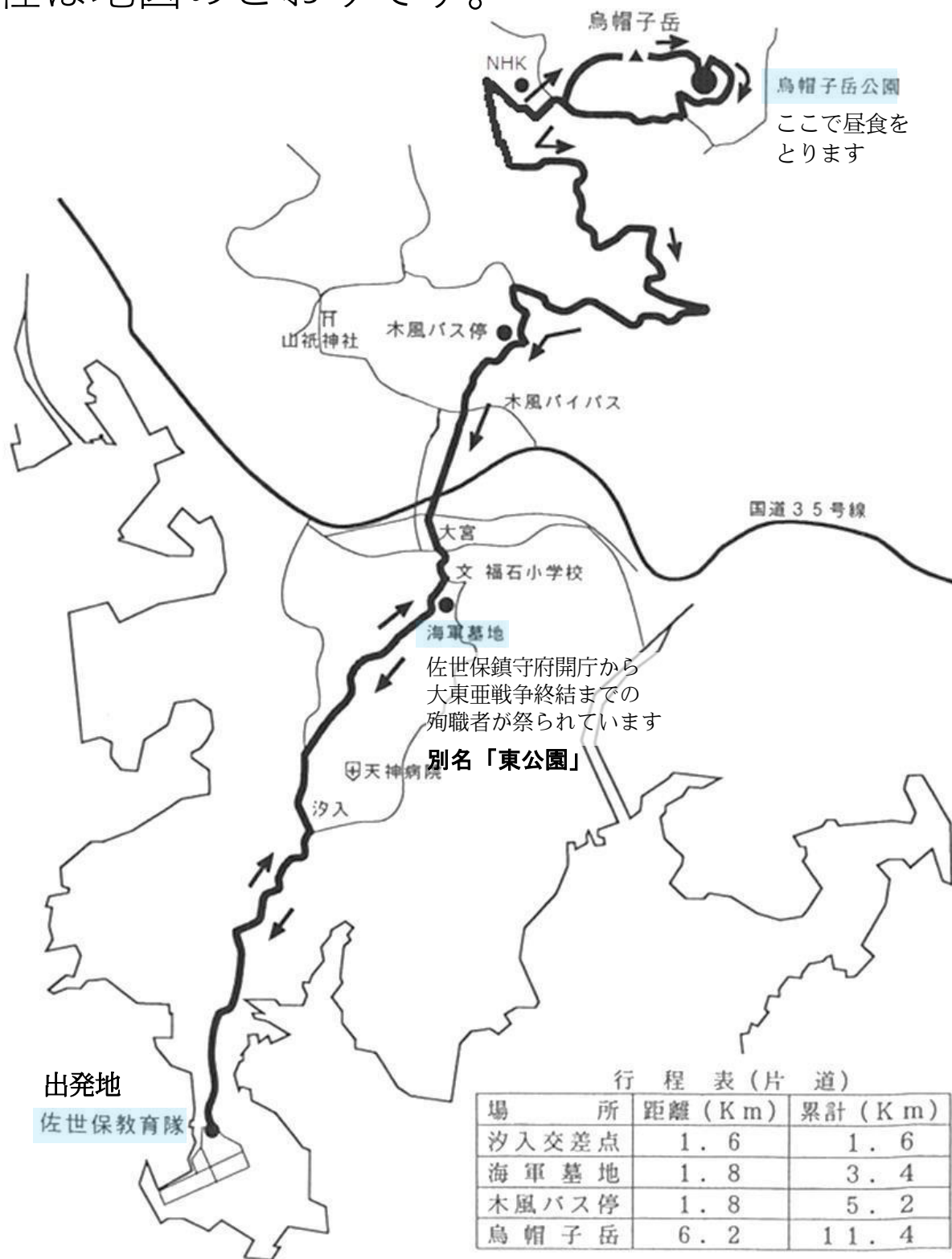
令和六年四月十日



令和6年4月10日、烏帽子岳登山を行いました。
入隊してから初めて外で実施される訓練です。

本訓練は強健な体力と不撓不屈の精神を養うこと、
同期間の絆を深めることを目的としています。

行程は地図のとおりです。



「烏帽子岳（えぼしだけ）」は「佐世保富士」とも呼ばれ、佐世保を代表する山の一つでもあります。

標高568m、全行程約23kmの道のりを踏破します。途中休憩をはさみますが起伏のある道なので少々ハードな内容です。



出発前に教育隊内にある「雄魂の碑」について説明を受け、黙禱を捧げました。

「雄魂の碑」は、昔行っていた烏帽子岳登山競技という山を駆け上がる競技中に途中で倒れ、そのまま亡くなった選手の死力を尽くした敢闘精神を讃えて同期の有志隊員により建てられた碑です。

もしかしたら、安全に登山できるように道中を先輩が見守ってくれているかもしれません。



黙禱が終わった分隊から順番に出発です。





バーベルのプレートを持っているのは体育教官で、ただ登山するだけでは物足りないので鍛錬のためにやっているそうです。1枚10kgもあります。まずは最初の休憩所である海軍墓地に向かいます。





海軍墓地に着いたら一休みです。ここまでの道のりは3.4 km。まだ1/3も進んでいません。出発後は、ほぼ休憩なしで山頂まで向かいます。

ここでしっかり水分補給、お手洗いも済ませておきましょう。



行列ができるトイレになっちゃってます



まだまだ余裕の表情ですね(*^-^*) 撮影者は既に息が上っていますが (汗)



この後は基本的に登りの道になります。暑くなって脱いだら邪魔になる上着を、出発前にまとめて預かってもらっている分隊もいました。





手を挙げている学生、なんと信号待ちの時に、仕事に向かう途中のお父さんが通りかかったそうです。すごいタイミング。嬉しそうです。



すぐに変わってしまう信号なのでダッシュで渡ります。それでも1回では渡り切れませんでした。階段も駆け上がっていました。元気過ぎます(>▽<)





ただ住宅街を歩いているだけなんですが、なんかカッコ良かったので. . .



※これは演出です。



体育教官に触発されて、元気が有り余っている学生は、重りを自分も持ちたいと言って貸してもらっていました。

でも、まだ山の麓にも着いていないこと分かっているのかな？ほどほどに楽しんで。



四角いトンネルを抜けたところで水分補給のための小休止。日差しが強いので、日焼け止めも追い塗りです。



ここから先は段々と住宅も少なくなり、登山道っぽくなっていきます。



敬礼は覚えたてなので、やたらとしてくれます。可愛いですね。







最後の小休止です。若干の疲れが見えてきました。
こっちはとっくに限界突破してます（笑）
さあ、頂上まであとひと踏ん張り！



山頂手前の「風と星野広場」に着きました。ここで昼食&休憩をとります。
山頂まで本当にあとちょっとです。一気に登り切りましょう。









無事山頂にたどり着きました。この日は天候にも恵まれ、遠くまで見通せて最高の景色が見れました。



山頂から「星と風の広場」に戻り、お待ちかねの昼食です。最近の若者は缶切りを使ったことない人もいるようで、かなり苦戦していました。

味の方は「おいしい！」とのことでした。外で食べるとなおさらですね。





我々は恵まれた自然を大切にする自衛官ですので、当然、ゴミは仕分けをして持ち帰ります。

休憩を終えたら下山です。そう、終わった感がありますが道半ば。帰るまでが遠足訓練です！

下りの方が危ないと言われているので、最後まで気を抜かずに行きましょう。





佐世保の街並みも近くなってきました。



基地のフェンスも見え始め教育隊はもう目前です。門の手前で一旦整列し直し、足並みを揃えて行進で入門です。





それぞれの隊舎の前に到着したら、体調の確認をして訓練終了！あとは、翌日に影響しないように整理体操等体の手入れをしました。お疲れさまでした。

